

# 新機種紹介 機関誌編集委員会

## ▶ <01> ブルドーザおよびスクレーパ

07-<01>-01	コマツ ブルドーザ (湿地車) D51PX-22	'07.11 発売 モデルチェンジ
------------	--------------------------------	----------------------

土地造成、道路工事などで使用される湿地用ブルドーザについて、操作性、環境対応性、安全性、耐久性、メンテナンス性などの向上を図ってモデルチェンジしたものである。

ラジエータを後方に配置して前方視界を良好にしたスラントノーズスタイルで、ブレード容量のアップ、履帯中心距離や履帯幅の増大などで作業性と安定性を向上している。日米欧の排出ガス対策（第3次規制）基準値をクリアする ecot3 型エンジンを搭載しており、さらに、キャブのダンパマウントやエンジン、油圧機器のラバーマウントなどにより振動、騒音を低減して、オペレータ耳元騒音 76 dB (A) を達成している。走行駆動は、左右の履帯に2組の油圧ポンプ・モータを使用する HST 駆動方式としており、整地、押し回し、サイドカット、傾斜地、微速接近、軟弱地などにおける作業・走行を確実にしている。運転は、ダイヤル式の燃料スロットル、エンジンや HST などを最適に制御する PCCS (Palm Command Control System) を採用したジョイスティック式走行レバー（前後進、ステアリング、変速 UP/DOWN スイッチ）や PPC (圧力比例制御) バルブ装備の作業機レバー、ブレーキペダル、デセルペダルなどの操作のみで簡単にできるようにしている。車速設定においては、走行レバー装備の UP/DOWN スイッチ操作で 1 速⇄2 速⇄3 速の変速ができるクイックシフトモードと、0.8～9.0 km/h までの間、UP/DOWN スイッチ操作で約 0.4 km/h の増・減で任意の車速が得られるパリアブルシフトモードの 2 方式があり、作業内容に応じて選択が可能である。また、押し土作業、押し上げ作業などの作業条件に合わせて、前進車速を変えずに後進車速を 5 段階に設定することができる。パーキングブレーキレバーを下げてロックしないとエンジン始動ができないロック機構や、バックアップアラーム機構を装備して安全性を確保しており、また、ROPS/FOPS 一体型キャブには、大容量エアコン、故障診断機能付モニタパネル、稼働情報管理機能 (KOMTRAX) などを装備して作業効率向上に配慮している。厚板部品や鋳鋼部品を組合わせたメインフレーム構造、厚い箱型断面でオシレーション機構を採用したトラックフレーム構造、足回り装置における自動調整式アイドラサポート、大形トラッ



写真—1 コマツ「GALEO」D51PX-22 ブルドーザ

クリンクや大径ブッシュ、広幅スプロケットツースなどの採用で耐久性を向上している。エンジンの冷却水温に合わせて回転制御する油圧駆動式冷却ファンは逆転機能付で、さらにはね上げ式としているので、ラジエータコアの点検や清掃を容易にしている。そのほか、スプロケットには履帯を切り離さずに交換できるセグメントツースを採用、キャブのフロアマット面と入り口高さをフラットにして泥などの排出を容易にするなどメンテナンス上の細かい配慮をしている。

07-<01>-02	新キャタピラー三菱 ブルドーザ CAT D3K ほか	'07.11 発売 モデルチェンジ
------------	----------------------------------	----------------------

一般土木工事、土地造成工事などに使用される小形ブルドーザ D3K、D4K、D5K の 3 機種（湿地用 LGP および乾地用 XL）について、環境対応性、操作性、居住性、耐久性、メンテナンス性などの向上を図ってモデルチェンジしたものである。

キャブ付を標準仕様とし、日米欧の排出ガス対策（第3次規制）基準値をクリアするエンジン ACERT 型を搭載して、D3K および D5K は「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」に適合している（D4K は受注生産機種）。また、D3K LGP および D5K LGP（湿地車）については、国土交通省の低騒音型建設機械にも適合する。アクセルコントロールはダイヤル式を採用して調整を容易にし、さらに、掘削などの重作業では「パワー」にセットして生産性をアップ、整地などの軽作業では「エコ」にセットして燃費の向上を可能にしている。容量アップしたブレード装置においては、カッティングエッジの掘削角度を 52～58 度の範囲で任意に調整可能な VPAT (Variable pitch, Power Angle Tilt) 機構を採用し、さらに、ブレードに付着した泥落しのためにブレードシェイク機構を装備している。走行装置には 2 組のポンプ・モータで左右の履帯を駆動する HST 駆動方式を採用しており、ブレーキ装置は湿式ディスクブレーキを装備している。箱形断面構造のトラックローラフレーム、プラネタリ式ファイナルドライブ、セグメントスプロケット、密封潤滑式トラック、トラックリンク・ローリングブッシュ（シン

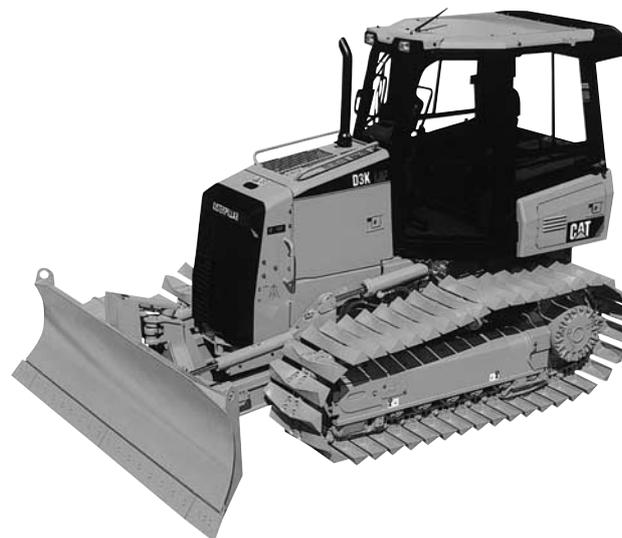
表—1 D51PX-22 の主な仕様

運転質量	(t)	13
定格出力	(kW (PS) / min <sup>-1</sup> )	97 (132) / 2,200
排土板 幅×高さ	(m)	3.350 × 1.110
排土板 最大チルト量/アングル角	(m) / (度)	0.505 / 28.5
最高走行速度 F3/R3	(km/h)	0 ~ 9.0 / 0 ~ 9.0
最低地上高	(m)	0.455
接地圧	(kPa)	32.2
全長×全幅×全高	(m)	4.820 × 3.350 × 3.200
価格	(百万円)	18.48

(注) キャブ付仕様を示す。

新機種紹介

グログローサシュー用オプション)などの採用により耐久性を向上している。ROPS/FOPS構造のキャブは密閉加圧式で、室内騒音値70dB(A)を達成しており、電子・油圧制御するブレードアングル操作ホイール&ブレードシェイクボタン付作業機レバーやHSTを電子制御する速度調整ホイール&速度メモリボタン付走行レバー(いずれもジョイスティック式)、デセル&ブレーキペダル、エアサスペンションシート、各種メータ類やモニタリング機能を集約したダッシュパネルなどを装備して、操作性や居住性を向上している。走行レバーの速度メモリボタンでは、予めよく使用する速度を記憶させておき、ボタン一つで速度を呼び出して使用することができる。ダッシュパネルにはメータや液晶ディスプレイのほか設定項目切替えスイッチを備えており、ブレーキ機能としてのブレーキのみ/ブレーキ+デセルの設定、作業装置レスポンスとしての微操作/通常/クイックモードの設定、旋回レスポンスとしての微操作/通常/クイックモードの設定などから、作業に合わせて適当な選択が行えるようにしている。ジョイスティックとシートはそれぞれ独立して前後位置調整が可能で、高さ調整が可能なりストレストアームレストと合わせてオペレータの体格などに応じて最適調整が可能としている。オペレータがシートに座っていないと作業装置も走



写真一2 新キャタピラー三菱 D3K LGP ブルドーザ

行装置も作動しないオペレータ感知システム(シートスイッチ)、万一のエンジン停止に備えて自動的に作動する非常ブレーキ、油圧ロックシステム、バックアップアラーム、ICチップ内蔵のスタータキーなどを装備して安全性に、また、日常点検作業を考慮した機器類の配置、地上から作業のできる位置に給油口を設置、メンテナンスフリーバッテリーの採用などでメンテナンス性に配慮している。さらに、車両搭載の遠隔稼働管理システム(Product Link Japan)により、稼働状況、位置、メンテナンス、警告等の情報を管理して稼働効率向上を図っている。

表一2 CAT D3K ほかの主な仕様

	D3K LGP (湿地車)	D3K XL (乾地車)
運転質量 (t)	8.55	8.00
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	55(75)/1,900	55(75)/1,900
排土板 幅×高さ (m)	3.15 × 0.86	2.65 × 0.91
排土板 最大チルト量/アングル角 (m)/度	0.44/24	0.37/24
最高走行速度 前進/後進 (km/h)	9.0/10.0	9.0/10.0
最低地上高 (m)	0.31	0.31
接地圧 (kPa)	31	46
全長×全幅×全高 (m)	4.255 × 3.150 × 2.790	4.270 × 2.650 × 2.765
価格 (百万円)	13.936	—

	D4K LGP (湿地車)	D4K XL (乾地車)
運転質量 (t)	8.75	8.35
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	63(85)/1,900	63(85)/1,900
排土板 幅×高さ (m)	3.15 × 0.91	2.785 × 1.01
排土板 最大チルト量/アングル角 (m)/度	0.44/24	0.385/24
最高走行速度 前進/後進 (km/h)	9.0/10.0	9.0/10.0
最低地上高 (m)	0.31	0.31
接地圧 (kPa)	30	39
全長×全幅×全高 (m)	4.270 × 3.150 × 2.790	4.275 × 2.785 × 2.765
価格 (百万円)	15.126	—

	D5K LGP (湿地車)	D5K XL (乾地車)
運転質量 (t)	10.3	9.60
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	72(97)/1,900	72(97)/1,900
排土板 幅×高さ (m)	3.22 × 1.01	2.89 × 1.05
排土板 最大チルト量/アングル角 (m)/度	0.45/23	0.40/24
最高走行速度 前進/後進 (km/h)	9.0/10.0	9.0/10.0
最低地上高 (m)	0.31	0.31
接地圧 (kPa)	28	40
全長×全幅×全高 (m)	4.295 × 3.220 × 2.790	4.325 × 2.890 × 2.765
価格 (百万円)	15.7	—

(注) キャブ付仕様を示す。

▶ <02> 掘削機械

07-<02>-20	コマツ ミニショベル(後方超小旋回形) PC27MR-3	'07.10 発売 モデルチェンジ
------------	------------------------------------	----------------------

都市土木工事や農林業土木工事などで使用されるゴムクローラ式ミニショベルについて、ITサポートシステムの充実や、環境対応性、操作性、居住性、安全性、メンテナンス性などの向上を図ってモデルチェンジしたものである。

車両遠隔管理システム(KOMTRAX)を標準装備しており、E-KOMATSU Net(コマツ会員制ホームページ)との連携により位置情報、サービスメータ情報、遠隔地エンジン始動ロックなどの機能を充実して車両管理を確実にしている。エンジンは特定特殊自動車排出ガス規制対応のものを搭載しており、米国EPA Tier4規制、欧州EU Stage3A規制にも対応する。また、市街地作業や夜間作業に備えて、国土交通省の超低騒音型建設機械基準値もクリアしている。可変容量型ポンプと可変容量モータを採用して作業機スピードアップと複合操作性を向上し、走行は自動変速2速として移動時の効率化を図るとともに、ブレード操作レバーに装着した自動2速⇄1速固定の切換えスイッチによりブレード操作をしながらの変速操作をスムーズにしている。ブレードとバケットツース間の距離の

## 新機種紹介

最適化を図り、手前かき寄せ作業を容易にしている。運転席はウォークスルー構造とし、2本柱ROPS・OPG・ヘッドガードキャノピ&リヤビューミラーの採用で、視界と安全性を確保している（キャブ仕様車はROPS・OPG・ヘッドガードキャブを装備）。そのほか、ロックレバーで全ての操作をロックした状態のみエンジン始動ができるエンジンニュートラルスタート機構を装備、作業機の高圧ホースに圧油飛散防止カバーを装着、万一エンジンが急停止した場合に安全に作業機を降下接地できるようアキュムレータを装備、ファイヤウォールの設置、走行駐車ブレーキや旋回駐車ブレーキの採用など、安全についての対策を充実している。X形トラックフレームは泥が溜まりにくく落としやすい構造・形状とし、チルトアップフロア機構やフルオープンカバーの採用、全ての給脂間隔を500hとするなどでメンテナンス性を向上している。

キャノピ/キャブ付の標準仕様のほか、旋回体後端に脱着可能な増量ウエイトを装着して車両安定性を確保するX仕様、各種アタッチメント作業に対応する配管仕様などを確立している。

表—3 PC27MR-3の主な仕様

標準バケット容量	(m <sup>3</sup> )	0.08
機械質量	(t)	2.750 [2.900]
定格出力	(kW (ps) / min <sup>-1</sup> )	19.2 (26.1) / 2,600
最大掘削深さ×同半径	(m)	2.550 × 4.650
最大掘削高さ	(m)	4.48
バケットオフセット量 左/右	(m)	0.580 / 0.845
最大掘削力 (バケット)	(kN)	21.9
作業機最小旋回半径/後端旋回半径	(m)	1.980 / 0.75 [0.885]
走行速度 高速/低速	(km/h)	4.8 / 2.6
登坂能力	(度)	30
接地圧	(kPa)	27.7 [29.2]
全長×全幅×全高	(m)	4.240 × 1.550 × 2.520
価格 (キャノピ仕様)	(百万円)	4.095

(注) (1) キャノピ仕様 [キャブ仕様] の書式で示す。  
 (2) 全長, 全高は, 輸送時寸法を示す。



写真—3 コマツ「GALEO」PC27MR-3 ミニショベル (後方超小旋回形)

### ▶ <04> 運搬機械

07-<04>-05	新キャタピラー三菱 ((米)キャタピラー社製) 重ダンプトラック CAT 770	'07.10 発売 モデルチェンジ
------------	---	----------------------

大規模土木工事、鉱山現場で使用される重ダンプトラックについて、環境対応性、生産性、居住性、安全性、耐久性、メンテナンス性などの向上を図ってモデルチェンジしたものである。リジッドフレームでセンタマウントキャブを特徴としている。

搭載の ACERT 型エンジンは、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」をはじめ米国環境保護局 (EPA) の Tier3 規制および欧州連合 (EU) の Stage III a 規制にも適合するもので、燃料の噴射量やタイミングをコントロールする電子制御システム、ターボチャージャーと空冷式アフタークーラで完全燃焼を図る吸気システム、max2,000 気圧の超高圧・多段噴射の燃料噴射システムなどから構成され、排気を吸気に一切戻さずクリーンな空気だけをシリンダ内に供給して燃焼させる方式を特徴とする。システム同士の情報交換をリアルタイムで行い、各ユニットをきめ細かくコントロールするエンジンパワートレイン統合電子制御システムを搭載しており、リバースニュートライザ、ベッセルアップ時シフト制限、エンジンオーバーラン防止機能、変速時シフトショック制限、中立時惰性走行防止などの多くの機能を備えて、安全性や耐久性を高めている。ロックアップクラッチ付トルクコンバータ (ロックアップクラッチは約 8 km/h で作動する)、前進 7 速のフルオートマチックトランスミッションを採用し、変速時におけるパワートレインへの負荷を減少してスムーズな走行を実現している。サービスブレーキに電子制御全油圧式ブレーキシステムを採用して信頼性を高めており、エンジンブレーキを使用しての降坂時には、エンジン回転数を一定に保つようリヤブレーキ併用式オートマチックリターダコントロールで自動制御して、降坂時の安全と作業効率アップを確実にしている。さらに、万一の故障に備えて、オペレータに警告を発して緊急のステアリング操作を可能にするサブリメンタルステアリングや、パーキングブレーキを作動させて後輪ブレーキを緊急ブレーキとして作動させるセカンダリブレーキが装備されて、緊急時の安全対策にも配慮がされている。容積、幅、ガラス面積をアップした ROPS/FOPS 構造の密閉加圧式キャブは、稼働データ、走行情報、メンテナンス情報、車両診断データなどをリアルタイムに表示するメッセージモニタを装備しており、車両前部左右にはライト付階段式ステップを設けてキャブへの乗降性と安全に配慮している。また、地上からエンジンを停止できるシャットオフスイッチを標準装備している。2 段傾斜式 V 型ベッセルを標準装備し、ベッセル表面にはブリネル硬度 400 の鋼材を使用して耐磨耗性と対衝撃性を上げ、幅広箱型断面構造リブの採用、サイドリブと底リブの一体化、リブの増加などで全体的な強度アップを図っている。ベッセルには、ベッセルがフレームに着座する前に減速し、衝撃を減少させる電子油圧式ホイストコントロールシステムと 2 段式ホイストシリンダを採

新機種紹介

用しており、ベッセル内には常時、排気ガスを循環してヒーティングによりダンプ時の土離れを良くしている。エンジンオイルおよびフィルタの交換間隔 500 h, エアフィルタの交換間隔 1000 h などとメンテナンス間隔の延長を図っており、車両メンテナンス時の安全に配慮して、システムを不作動にするエンジンロックアウトスイッチ、トランスミッション/ホイスト/ステアリングロックアウトスイッチを装備している。

オプション仕様として、後輪のスリップを電子的に感知し、けん引力を最適にコントロールするトラクションコントロールシステム (TCS)、サスペンション圧から算出した積載重量、サイクルタイムなどのデータを車載コンピュータに記録し、過積載時速度リミッタ機能を働かせるトラックプロダクションマネジメントシステム (TPMS)、ヘビーデューティ&高衝撃用の各種ベッセルなどが用意されている。

表-4 CAT 770 の主な仕様

最大積載質量/山積容量	(t)/(m³)	36.4/25.9
運転質量 (総質量)	(t)	34.8 (71.2)
定格出力	(kW (PS)/min <sup>-1</sup> )	355 (482)/1,800
荷台上縁高さ (積み高さ)	(m)	3.215
最高走行速度 F7/R1	(km/h)	74.8/15.9
最小回転半径 (最外輪中心)	(m)	8.8
最低地上高	(m)	0.505
輪距 (前輪/後輪) × 軸距	(m)	(3.110/2.535) × 3.960
タイヤサイズ (ラジアル)	(—)	18.00 - R33 (E - 4)
全長 × 全幅 × 全高	(m)	8.740 × 4.755 × 4.200
価格	(百万円)	64.99



写真-4 新キャタピラー三菱 CAT770 重ダンプトラック

▶ <05> クレーン, エレベータ, 高所作業車およびウインチ

07-〈05〉-07	コベルコクレーン クローラクレーン(ラチスブーム形) SL6000J-500	'07.10 発売 新機種
------------	--	------------------

高層ビル工事, 大形プラント工事, 原子力・風力発電設備工事などに使用される全油圧式の大形クローラクレーンで, 大きな吊り上げ能力と容易な輸送性を中心に, 安全性, 操作性, 環境対応性など

の向上を図った新機種である。

搭載エンジンは「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」に適合する低公害型で, 欧州 (EU) の排出ガス規制 (3 次), 米国 (EPA) の排出ガス規制 (3 次) の基準値もクリアしている。ブームのメインパイプに大径パイプを採用して高強度を図りながら輸送を考慮して幅 3 m に抑えたラチスブーム, 新形状の設計と巻上ウインチを下部ブーム背面へ移設したことで高剛性と軽量化を可能にした旋回フレーム, フレームに下部ローラを組込んで限られたスペースでの断面強度を高め, 高張力鋼板の採用で軽量化したクローラフレームなど, 各ユニットの高強度と軽量化を両立している。ハードな作業に対応する HEAVY LIFT (HL) 仕様では, HL マストの起立角度を 3 段階に変更できるので, 作業現場に合わせて後端旋回半径を 11 m, 13 m, 16 m に設定して大きな能力を発揮することができる。巻上ウインチ (巻上 1, 巻上 2) は, 巻上げ, 巻下げともにロープ速度を 110 m/min (1 層目) に設定して作業効率を向上しており, ウインチドラムはφ 28 mm ワイヤロープを 1,080 m 収納できる大容量にして長尺ブーム使用での高揚程作業に対応している。巻上 1, 巻上 2, 起伏 1, 起伏 2, 起伏 3 の各ドラムの速度調整はダイヤル式で無段階に調整が可能であり, 同期巻上げなどの複合操作が簡単にできる。エンジンスロットルレバーは電気式, ウインチ操作レバーは遊びの少ないパイロットバルブ直結式, 旋回操作レバーは反力感知機能付油圧パイロット式を採用しており, ウインチ操作レバーにはレバーから手を離さずに ON/OFF のできるグリップ一体型の微速制御スイッチを設けて操作を容易にしている。旋回操作においては, 高い精度が求められる吊り荷作業や傾斜地での旋回発進におけるレバー・中立ブレーキモード, 連続的に旋回を繰り返す作業などにおける中立フリー (高速/低速) モードの 3 モードの設定が可能で, 作業に合わせて適当な選択ができる。また, 中立ブレーキモードでは旋回速度の上昇を抑え, 停止時の荷振れを軽減する低速旋回制御機能が自動的に働くようになっている。走行駆動はクローラの前端と後端の両方に走行モータを装備した構造で, 安定したけん引力を発揮して現場内の移動をスムーズにしている。キャブは高揚程作業に対応して 0 ~ 15 度のチルト機能付で, チルト機能付クロスシートを装備している。安全装備として, ブーム (ラフティングジブ) 起伏操作時に所定の角度に近づくと自動的に緩停止させるブーム (ラフティングジブ) 第 1 過巻防止装置, クレーン作業時にブーム角度を監視する対地角センサ, ラフティングジブ作業時にはブーム角度を対地, 対機で 2 重に監視するセンサ, 自動停止の解除を許さない極限停止機能付のブーム (ラフティングジブ) 第 2 過巻防止装置などがあり, ブーム (ラフティングジブ) 反転の危険を防止している。また, 過巻防止装置によるブーム, ラフティングジブの巻下げ停止時やブーム過巻による自動停止時に働く緩停止システムを備えており, 停止時のショックを和らげて荷振れを抑えている。過負荷, フック過巻, ブーム過巻の自動停止解除は, マスタキーと個別スイッチによる 2 段階解除方式を採用して, 安易な自動停止解除ができないようにしている。

巻上ウインチを下部ブーム背面に設置したことや, ブーム起伏ウ

## 新機種紹介

インチをマストへ搭載したことなど、各ユニット構成を合理化したことによって、分解、組立、輸送の効率的な作業を実現している。新構造の採用あるいは材料の選定によって分解輸送質量 32 t、輸送幅 3 m を実現しており、さらに、スペースの有効活用を図るために中間ブームの内側に中間ラフティングジブを収納するネステイングブームや上部本体輸送幅を 3 m に抑えるためにキャブを本体前方へ旋回格納するスイングキャブを採用して、輸送性を向上している。下部本体にジャッキシステムを装備しており、トレーラの積降

表一 5 SL6000J-500 の主な仕様

最大吊上げ能力 ヘビーデューティ主ブーム(A) (t) × (m)	500 × 6.2 [367.5 × 8.3]
最大吊上げ能力 ラフティング主ブーム(B) (m)	300 × 9.3 [300 × 9.3]
最大吊上げ能力 ラフティングジブ (m)	184 × 14.0 [200 × 14.4]
最大作業半径×吊り荷重(ヘビーデューティ主ブーム) (m) × (t)	39.0 × 42.6 [39.0 × 47.8]
最大作業半径×吊り荷重(ラフティング主ブーム) (m) × (t)	66.0 × 7.6 [72.0 × 7.7]
最大作業半径×吊り荷重(ロング主ブーム) (m) × (t)	72.0 × 6.2 [80.1 × 7.2]
最大作業半径×吊り荷重(ラフティングジブ) (m) × (t)	90.0 × 5.7 [94.0 × 6.7]
ブーム長さ (A)/(B) (m)	21~42[36~42]/30~84[36~84]
ロング主ブーム長さ (m)	90~108
最大ブーム+ジブ長さ (m)	66+72 [66+72]
ラフティングブーム角度 (度)	66~86
旋回角度 (度)	360
運転質量 (t)	424 [461]
定格出力 (kW (ps)/min <sup>-1</sup> )	320(435)/2,000
走行速度 (km/h)	1.0/0.6
登坂能力 (度)	11.3
接地圧 (kPa)	136 [148]
全長×全幅×全高(走行姿勢) (m)	4.980 × 1.380 × 1.980
価格 (STD クレーン仕様) (百万円)	770

(注) (1) STANDARD 仕様 [HEAVY LIFT 仕様] の書式で示す。  
 (2) (A) : ヘビーデューティ主ブーム, (B) : ラフティング主ブーム。



写真一 5 コベルコクレーン SL6000J-500 クローラクレーン

ろしをリモコン操作で単独で行える。

### ▶ <13> 舗装機械

07-<13>-01	住友建機 アスファルトフィニッシャー HA60W-7/HA60C-7	'07.11 発売 モデルチェンジ
------------	--	----------------------

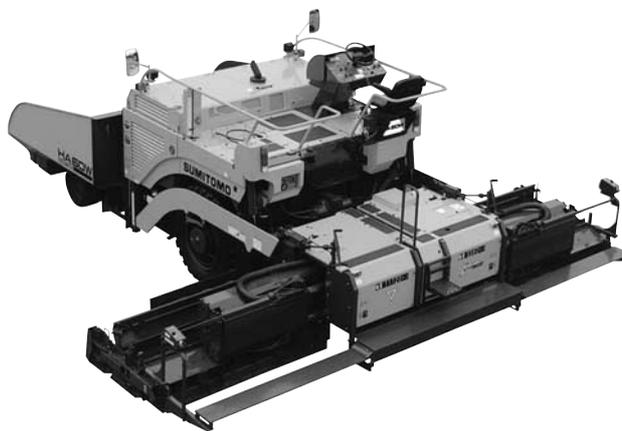
排水性舗装や特殊合材使用の舗装などに幅広く使用されるアスファルトフィニッシャーについて、環境対応性、安全性、メンテナンス性を向上してモデルチェンジした HA60W-7 (ホイール式) と HA60C-7 (クローラ式) の 2 機種である。

エンジンは、排出ガス対策 (3 次規制) 基準値をクリアするものを搭載しており、また、国土交通省の低騒音型建設機械にも適合する。舗装幅可変機構として 3 連無段階伸縮式 (J・paver) のスクリッドを採用、締固め機構は油圧式のタンパ・バイブレータ方式またはバイブレータ方式の選択を可能とし、加熱装置には自動着火式プロアバーナ (4 基) を備えている。舗装厚の調整はリモコンまた

表一 6 HA60W-7/HA60C-7 の主な仕様

	HA60W-7 (ホイール式)	HA60C-7 (クローラ式)
舗装幅員 (m)	2.3~6.0 無段階	2.3~6.0 無段階
舗装厚 (mm)	10~300	10~300
機械質量 (t)	13.65 [13.45]	13.80 [13.60]
定格出力 (kW (ps)/min <sup>-1</sup> )	92(125)/2,200	89.2(121)/2,200
ホッパ容量 (m <sup>3</sup> )	11	11
クラウン量(スロープ 0~3) (%)	-1~3	-1~3
舗装速度 (m/min)	1.5~12	1.0~2.0
コンベヤ 幅×列 (mm)	482 × 2	482 × 2
スクリュー 直径×ピッチ (mm)	φ 330 × 300	φ 330 × 300
走行速度 前/後 (km/h)	0~8/0~8	0~3.0/0~3.0
最小回転半径 (m)	7.2	—
軸距×輪距 (前/後) (m)	2.70 × (2.11/1.98)	—
タイヤサイズ 前輪(フリッド)/後輪 (-)	22 × 14 × 16/15.5 R25	—
シュー幅×タンブラ間距離 (m)	—	0.284 × 2.615
全長×全幅×全高(キャノピ付) (m)	6.800 × 2.490 × 2.645(3.700)	6.475 × 2.490 × 2.530(3.700)
価格 (百万円)	56 [52]	57 [53]

(注) 機械質量および価格の仕様値は、タンパ・バイブレータ仕様 (TV) [バイブレータ仕様 (V)] の書式で示す。



写真一 6 住友建機「J・paver」HA60W-7 アスファルトフィニッシャー

## 新機種紹介

は手動式の操作とし、油圧駆動式の段差調整機構を備えている。コンベヤとスクリュウの駆動はそれぞれ別の油圧駆動として送り速度の調整を図っている。HA60W-7の走行は前輪油圧モータ・後輪HST駆動で、ブレーキはディスクブレーキ（内蔵）式としている。

HA60C-7の走行はHST駆動で、ブレーキは自動ブレーキとしている。

オプションとして、折りたたみ式キャノピ、超音波式合材フローコントローラ、スクリュウ上下装置などを用意している。

## 「建設機械施工ハンドブック」改訂3版

近年、環境問題や構造物の品質確保をはじめとする様々な社会的問題、並びにIT技術の進展等を受けて、建設機械と施工法も研究開発・改良改善が重ねられています。また、騒音振動・排出ガス規制、地球温暖化対策など、建設機械施工に関連する政策も大きく変化しています。

今回の改訂では、このような最新の技術情報や関連施策情報を加え、建設機械及び施工技術に係わる幅広い内容を取りまとめました。

### 「基礎知識編」

1. 概要
2. 土木工学一般
3. 建設機械一般
4. 安全対策・環境保全
5. 関係法令

### 「掘削・運搬・基礎工事機械編」

1. トラクタ系機械
2. ショベル系機械
3. 運搬機械
4. 基礎工事機械

### 「整地・締固め・舗装機械編」

1. モータグレーダ
2. 締固め機械
3. 舗装機械

● A4版／約900ページ

### ● 定 価

非会員：6,300円（本体6,000円）

会 員：5,300円（本体5,048円）

特別価格：4,800円（本体4,572円）

【但し特別価格は下記◎の場合】

### ◎学校教材販売

〔学校等教育機関で20冊以上を一括購入申込みされる場合〕

※学校及び官公庁関係者は会員扱いとさせていただきます。

※送料は会員・非会員とも沖縄県以外700円、沖縄県1,050円

※なお送料について、複数又は他の発刊本と同時申込みの場合は別途とさせていただきます。

● 発刊 平成18年2月

## 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8（機械振興会館）

Tel. 03 (3433) 1501 Fax. 03 (3432) 0289 <http://www.jcmanet.or.jp>